

## 阿蘇中央高校と連携した阿蘇神社再建における地域材利用の取組

(熊本県における林業普及指導員の取組事例)

### 現状と課題

阿蘇地域は、熊本県の北東部に位置し、標高400～800mの高原地帯で、観光と農林業が盛んな地域である。当地では、林業従事者の不足・高齢化などから若年者等の林業担い手の確保・育成が喫緊の課題となっており、阿蘇地域の林業普及指導員は、これまで林業系学科を有する地元の県立阿蘇中央高等学校を対象に研修や就業ガイダンスを実施してきた。

### 取組内容

平成28年熊本地震では国重要文化財にも指定される阿蘇神社の拝殿等が倒壊した。この再建にあたり、本取組では阿蘇中央高校演習林の木材の利用を支援し、生徒達の木材利用への関心や林業の社会貢献への理解を高めさせ、生徒達の林業就業への意欲向上に繋げた。

具体の支援内容としては、当初は外国産の米ヒバで設計されていた部材について同校の演習林材をはじめとした阿蘇地域材（ヒノキ等）に変更させる提案を事業費や工期の制約がある中で神社や設計会社等に粘り強く行ったものである。（関係者打合せや現地検討の回数は40回以上に及んだ。）

### 成果

- ・ 阿蘇神社の再建に、阿蘇中央高校の演習林材を含む阿蘇地域材の使用が決定した。（地域材使用割合は調達材積約300m<sup>3</sup>のうち95%まで増加）
- ・ 同校の生徒や教員が事業に参画したことで、生徒の学習意欲や林業就業への関心が高まり、担い手対策に関する学校と林業普及指導員の連携が深まった。
- ・ 多くの地元関係者が集った演習林での安全祈願祭などが新聞やテレビで取り上げられ、阿蘇中央高校の林業教育活動をはじめ、地域の林業や木材の利活用の意義を広く発信することができた。

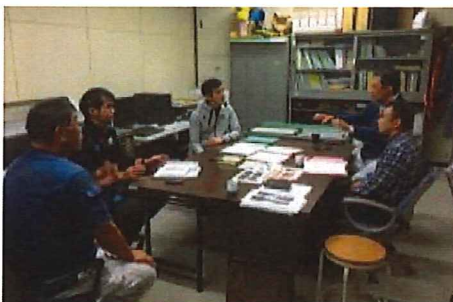


写真1 高校教員との打合せ



写真2 安全祈願祭での地域関係者による集合写真



写真3 高校生の玉切り等研修



写真4 高校演習林から搬出された鳥居用柱(119年生杉)